



国民の森林・国有林

最上村山国有林の森林計画に関する住民懇談会



朝日連峰

林野庁東北森林管理局

山形森林管理署・山形森林管理署最上支署



● 説明の内容

目 次

- 1 計画区の主な取組状況について
- 2 次期計画の基本的方針について



1 計画区の主な取組状況について



(1) 公益重視の管理経営の一層の推進

○ 治山事業の実施

頻発する集中豪雨等による山地災害に対し、安全・安心な国土・地域の構築のため、治山対策を推進しています。



階段状に設置した治山ダム群

銅山川地区直轄地すべり防止事業



排水トンネルによる対策

地域住民の安全・安心な暮らしを確保するため、山地災害が発生した国有林野において、更なる被害発生を防ぐための復旧対策を実施しました。

流域一帯で多数の山地災害が発生した西川町大井沢地区では、民有林と国有林が近接している流域であり、県と国とが緊密に連携して、治山対策を実施しています。

地すべりが起きやすい地域である大蔵村銅山川地区などでは、下流域への被害防止のため地すべり防止事業を進めています。

○ 生物多様性の保全

国有林野内の森林生態系や希少な野生生物を将来にわたって保護・管理していくため、森林生態系や個体群の持続性に着目した分かりやすく効果的な保護林区分を導入し、「森林生態系保護地域」、「生物群集保護林」、「希少個体群保護林」の3区分に再編しました。

また、野生生物の生育・生息地を結ぶ移動経路を確保し、個体群の交流を促進して種や遺伝的な多様性を保全するための「緑の回廊」を設定しています。



朝日山地森林生態系保護地域



山の内スギ希少個体群保護林

「朝日山地森林生態系保護地域」を始めとする7箇所を保護林を設定し、生物多様性の保全に努めています。

「朝日山地森林生態系保護地域」は広大な区域であり、自然環境や野生動植物を適切に保全管理するため「朝日山地生態系保護管理部会」を設置しています。

また、山の内スギ希少個体群保護林（戸沢村）、蔵王生物群集保護林（山形市・上山市）など地域特有の森林についても保護しています。



(2) 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

○ 林業の低コスト化等に向けた技術開発

民有林への普及を念頭においた林業の低コスト化等に向けた技術開発に取り組みました。具体的には、一貫作業システムによりスギコンテナ苗を植栽し、低コストで効率的な作業システムを実証するとともに普及・推進に取り組みました。

従来の作業方法

伐採・搬出

地拵

裸苗植栽

※伐採と造林が別契約で、伐採後植栽まで時間が経過して、植生が繁茂していました。

一貫作業システム

伐採・搬出

地拵

コンテナ苗
植栽



スギコンテナ苗

※伐採及び造林の同時・並行作業が可能になります。枝条整理後、植生が繁茂する前に植栽することで、初回の下刈も省略可能となります。



検討会でのコンテナ苗植栽

平成27年度から一貫作業システムによりスギコンテナ苗を植栽しました。

また、山形県との共催により現地検討会を開催し、情報の共有や技術の普及に努めました。

○ 高性能林業機械による低コスト林業の普及

高性能林業機械による低コスト化の普及を図るために、現地検討会・研修会を開催しました。



高性能林業機械



研修状況

○ 森林作業道の作設技術の普及に向けた取組

森林施業に重要な路網整備（森林作業道）の作設技術の向上・普及を図るため、民有林・国有林が連携し研修会・検討会を開催しました。



最上支署の現地検討会
(真室川町大滝)



山形署の現地検討会
(村山市湯ノ沢)



(3) 国民の森林としての管理経営

○ 森林環境教育の推進

学校等と森林管理署等が協定を結び、様々な自然体験や自然学習を行う「遊々の森」の設定・活用など、森林環境教育に係るプログラムの整備や国有林野のフィールド提供等に積極的に取り組んでいます。



仙台市山田中学校の林業体験
(最上町新倉見、遊々の森)

森林環境教育として、地域関係機関からの要請により各種植樹活動等の指導補助、森林・林業についての知識の普及のために、植樹体験などのイベントを実施しました。また、森林の有する多面的な機能の普及啓発にも取り組んでいます。

○ 森林の整備・保全等への国民参加

自ら森林づくりを行いたい、次代に引き継ぐべき木の文化を守りたいという国民の要望に応えるため、フィールドの提供を行うほか、分収林制度を活かし、NPO、企業、地元関係者等の多様な主体と連携した取り組みを行うとともに、技術指導等の支援を行い、国民参加の森林づくりを進めています。



成沢グリーンフィールド
協力隊
(山形市成沢)



村山市「ふるさと
教育の森」の植樹
(村山市山の内)

森林づくり活動への要望に応えるため、適切なフィールドの選定と技術指導等の支援をしていきます。

○ 林業就労者育成への貢献

林業就労者の育成のための現地実習や山形県農林大学校へフィールド提供をしています。



村山産業高校の
現地実習
(寒河江市畑地区)



農林大学校の採材研修
(最上町牛蒡根沢国有林)

村山産業高校の生徒へ現地実習のフィールドを提供しました。

さらに、平成28年に山形県が新設した山形農林大学校の林業経営学科の生徒が、授業の一環として、採材や一貫作業システムについての現地検討会に参加し、若手職員との意見交換等を実施しました。



2 次期計画の基本方針について

● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 林業の成長産業化に向けた国有林の役割の発揮

森林吸収源対策としての間伐及び主伐・再生林の推進、モザイク状に配置された森林への誘導等多様な森林整備の推進、森林施業の低コスト化、計画的な木材供給に取り組みます。

また、森林総合監理士等による民有林への技術普及等に取り組みます。



列状間伐
(村山市山ノ内)



高性能林業機械(プロセッサ)
(真室川町東亦山国有林)



低コスト作業システム現地検討会
(山形市柏倉)



森林整備推進協定に基づき作設
した西小又林道(林業専用道)
(真室川町西小又国有林)

スギやカラマツの人工林については、成長が良好で林道からの距離も近いなど条件が良い箇所については、伐採後も人工林として維持していきますが、そうでない箇所については、天然力を活かして、針広混交林に誘導していくことにも取り組みます。

また、林業経営コストの削減に取り組むため、国有林が率先してコンテナ苗を活用した一貫作業システムなど効率的な作業システムを推進します。

県、関係団体、林業事業体と連携し、国有林の素材生産現場において採材及び森林作業道作設の技術向上等を目的とした現地検討会を開催し、地域の林業関係者との情報交換を行うなど、低コスト化等の取組の普及に努めます。

「村山地域森林整備推進協定」、「西小又・小国地区森林整備推進協定」による森林共同施業団地では、民有林と協調した森林整備を推進するため、協定者が連携して、民国連携による路網整備および効率的な森林施業に取り組んでおり、引き続き民有林と国有林が連携して間伐などの森林整備に努めます。



● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 豊かな自然環境の保全管理及び森林環境教育の推進

管内では、優れた景観を有する貴重な天然林等が多数存在し、また希少野生動植物が数多く生息していることから、地域住民、ボランティア団体、NPO等と連携を図りながら、その保全管理に努めます。

また、管内の教育機関の要望に応え、継続的な森林環境教育に取り組みます。



森林の公益的機能の発揮



蔵王地区の活動(山形市、上市市)



村山市「ふるさと教育の森」植樹
(村山市山ノ内)



遊々の森での体験林業(枝打ち)
(真室川町大滝)

管内の国有林には、磐梯朝日国立公園や蔵王山などをはじめとする森林景観の優れた地域や森林レクリエーションの適地も多く、国有林が広く活用されています。

これらの地域では、地方公共団体等が主体となり利用者のための施設整備を実施しています。森林管理署においても自然環境、景観の維持、動植物の保護等を踏まえた森林施業に取り組みます。

また、野生生物の生息環境の保全や移動経路の確保等生物多様性の保全に努めます。

また、国有林野における森林巡視やパトロールによる高山植物保護、ゴミ拾いなどの環境整備等を実施し、利用者のマナー向上のための呼びかけや森林環境の保全管理に努めます。

学校や地方公共団体などからの要請により、職員等を講師とした森林環境教育を行います。

森林・林業について理解を深めるため、森林教室や植樹体験など様々な体験活動を通じ、森林づくりの必要性を学び、森林を身近なものとして親しんでいただきます。

また、「遊々の森」等については、各団体と連携し地域住民や子どもたちの学習体験活動を推進するため、引き続き要望を踏まえたフィールドの提供をしていきます。

優れた景観や貴重な天然林等が多数存在するレクリエーションの森は、自然探勝、動植物の観察の場として利用されることから地域と連携を図りながら保全管理に努めます。



● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 山地災害の復旧・予防対策の徹底

山腹崩壊等の山地災害に対する復旧対策を進めるとともに、集中豪雨や流木等被害に対する山地防災力を高めるため、事前防災・減災対策を推進し、下流域の安心・安全の確保に努めます。

● 発生した山地災害に対する復旧対策の推進



山腹工(朝日町立木地区)



治山ダム(戸沢村蔵岡地区)



ロープネット伏工
(山形市千歳山)



落石防護柵工
(山形市千歳山)



土砂撤去・大型土のう積等の応急対策
(戸沢村蔵岡地区)

局所的な集中豪雨等による山腹崩壊や土砂流出といった山地災害が発生した場合には、必要に応じて応急対策を実施するとともに、山腹斜面を安定させる山腹工、溪岸・溪床の浸食防止や山脚を固定させる治山ダムなどの治山事業を実施していきます。

また、森林の山地災害防止機能を高め、下流域の安心・安全を確保するため、落石や雪崩を予防・防護する治山施設の施工や、溪流内の不安定土砂を固定する治山ダムの設置などの事前防災・減災対策も推進していきます。

治山事業の実施に当たっては、環境に配慮した工法を採用するなど、生物多様性と国土の保全との両立に向けた対策を推進していきます。



雪崩防止柵工
(真室川町小又地区)



● 次期計画策定に向けての基本的な考え方

○ 病虫害及び鳥獣害対策の徹底

松くい虫被害・ナラ枯れ被害については、現在も発生が見られることから、被害の拡大を防止するため、早期発見に努め、被害木の伐倒駆除等に取り組みます。

また、ニホンジカに関しては、生息状況の把握に努めるとともに森林への影響を早期に把握できるよう、日常の森林巡視、地域住民からの情報収集などの取組を民有林関係者と連携して実施します。



松くい虫被害対策
(伐倒・くん蒸処理)



ナラ枯れ被害対策
(伐倒・くん蒸処理)



ニホンジカの森林
被害対策研修会
(山形署主催:山形市)



朝日山地の猛禽類等の
生息状況調査
(西川町志津)



生物多様性の保全等の講習
(真室川町)

松くい虫被害・ナラ枯れ被害については、気温や降水量等の気象要因により増減があります。今後も被害状況の把握に努めるとともに、被害防止対策に取り組みます。

生物多様性の保全等に配慮するとともに、ニホンジカの生息情報などを関係機関と共有し、被害の防止に努めてまいります。

また、各種会議や研修等へ積極的に参加して職員の知識の向上に努めます。



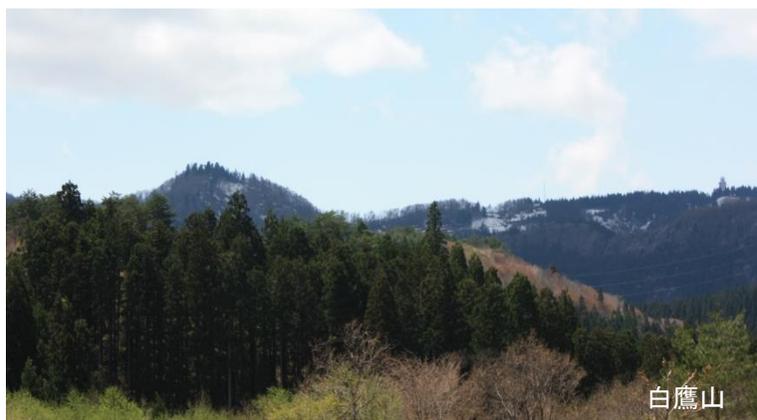
葉山



白糸の滝



幻想の森



白鷹山



山刀伐峠



最上川